

体育・スポーツ教育研究

第12巻 第1号

(九州の大学体育・スポーツ 第37号)

教育研究論文

- 原著論文
 - 大学体育の選択化は運動実施の二極化を助長するか — 運動行動と関連する諸要因からの検討 —
[中山 正剛 ほか]
 - 大学体育におけるステップトレーニングが女子学生の体力および運動実施を規定する心理社会的要因に及ぼす影響について
[角南 良幸 ほか]
 - 大学体育におけるアクアエクササイズの実践が学生の泳力と運動行動に与える影響 — 泳力向上を目的とした介入授業の効果 —
[尾関 一将 ほか]

今日の体育・スポーツ

- 問題提起
「スポーツ基本法」の制定とこれからの大学体育の課題
[中西 純司]

平成22年度体育・スポーツ・健康に関する教育研究会議

- 「体育・スポーツ・健康に関する教育研究会議」プログラム
- 招待講演
身体活動に対する意識と参加行動への規定力に関する比較文化的研究 — 日本と米国を対象に —
[Dr. Rafer Lutz Ph.D.]
- シンポジウム
 - 現代社会におけるスポーツ体験の意味を考える
[橋本 公雄]
 - スポーツとヒューマン・エージェンシー
[根上 優]
 - スポーツにおけるレジリエンスの問題
[山本 勝昭]
 - スポーツドラマチック体験によるポジティブ特性の形成
[阿南 祐也]
 - コメンテーターとしてのまとめ
[森 正明]
- 研究発表
 - 元高校球児のスポーツ的社会化過程に関する研究 — 大学野球部への適応状況に着目して —
[甲斐 義一 ほか]
 - 大学生陸上競技者の「ギャンブル」的行動の構造解明に向けた予備的研究 — スポーツをめぐる新たな「主体性」概念の構築を視野に入れて —
[新美 尚行 ほか]
 - 大学体育におけるアクアエクササイズの実践が学生の意識に与える影響 — 泳力と生涯スポーツへの意識の関係 —
[尾関 一将 ほか]
 - 大学体育における知識・能力の形成 (4) — スポーツ文化を総合的に教える授業の検討 —
[則元 志郎 ほか]
 - 女子大学生の日常生活における身体活動量と体育授業中の身体活動量との関係
[田原 亮二 ほか]
 - 体力測定の結果を活かす大学体育実習
[飯干 明]
 - 大学生生活の充実感と大学体育授業の関連性に関する研究
[中山 正剛 ほか]
 - 「生活習慣病予防スポーツ」授業における生活習慣及び心理的健康指標の分析
[藤原 大樹 ほか]
 - 大学初年次生の生活習慣の実態および健康状態
[正野 知基 ほか]

体育・スポーツ事情

- 海外だより — The 40th European Muscle Conference (EMC2011) への参加と発表 —
[松永 智]
- 大学めぐり — 公立大学法人名桜大学 —
[柳 敏晴]

受賞・表彰

- 「えっ…私が？」
[大浦 隆陽]

「体育・スポーツ教育研究」寄稿規定

2001. 3. 9 制定

2008.10.11 改正

1. 本誌への投稿は、原則として九州地区大学体育連合加盟大学に在籍している者に限る。また、編集委員会が必要と認めた場合には、寄稿を依頼することがある。
2. 投稿内容は、大学における体育・スポーツ・健康の教育研究に関する、総説・原著論文・実践研究・事例報告・研究資料などとし、和文で完結したものに限る。
3. 原稿の掲載可否および掲載の時期は、編集委員会において決定する。
4. 掲載された原稿は、原則として返却しない。
5. 原稿は、原則としてワードプロセッサで作成するものとし、A4判横書き、全角40字20行とする。手書きの場合は400字詰横書き原稿用紙を用いる。本文はひらがな現代かなづかいとし、外国語をかな書きにする場合は、カタカナにする。
6. 原稿は、原則として1篇につき、図表、抄録等を含めて刷り上がり10ページ以内（およそ400字詰原稿用紙で30枚、ワードプロセッサ使用の場合は15枚）とする。
7. 原稿の表紙には、題目・著者名・所属機関を和文と英文で明記する。また、表紙の右下に、総説・原著論文・資料論文・実践研究・事例報告の別と、3語ないし5語のキーワードを明記する。
8. 提出する原稿は、電子ファイル（PDF、またはWord）とする。
9. 挿図原稿は、図中の文字や数字が直接印刷できるように、きれいにはっきりと書く。写真は鮮明な画面のものとする。
10. 図や表には、それぞれに必ず通し番号とタイトルをつけ、1枚ずつ台紙か原稿用紙に貼り、本文とは別に番号順に一括する。図表の挿入箇所は、本文原稿の欄外に、赤でそれぞれの番号によって指示する。
11. 引用文献は、本文の最後に著者名のABC順に一括し、雑誌の場合には、著者・題目・雑誌名・巻号・ページ・西暦年号の順とし、単行本の場合には、著者・書名・版数・発行所・西暦年号・ページの順に記載する。
12. 掲載原稿の費用は投稿者負担とする（1p¥2,000）。但し、所定部数の別刷りを寄贈する。なお、本連合より研究助成を受けた者の掲載原稿費用は事務局が負担する。但し、別刷りは有料とする。
13. 原稿は、九州地区大学体育連合事務局に送付する。

「九州の大学体育・スポーツ」編集規定

1. 九州地区大学体育連合理事会内に編集委員会を設ける。
2. 編集委員は若干名とし、九州地区大学体育連合会長が委嘱する。
3. 編集委員会は、投稿原稿の採択および掲載の時期を決定する。
4. 投稿原稿の校正は、初校のみ投稿者が行い、以後は編集委員会の責任とする。
5. 掲載内容の決定および変更については、編集委員会で決定する。

編 集 委 員 会

橋本 公雄 中野 裕史 原 巖 則元 志郎 玉江 和義

* 本誌は第一回九州地区大学保健体育研修会報告書（昭和50年）を第1号として、「九州の大学体育・スポーツ（第25号）」を引き継ぐものであり、通巻第37号となるものである。